

2010年の兵庫県内におけるヒラズゲンセイ発生記録

中峰 空・青木 陽介

2010年の兵庫県阪神地域におけるヒラズゲンセイの発生記録について、筆者らが把握しているものについて報告する。

- ・複数固体, 宝塚市, 1 - 5. VII. 2010 (読売・朝日新聞)
 - ・複数固体, 三田市南部, 7. VII. 2010 (朝日新聞)
 - ・8♂, 7♀, 神戸市北区, 11. VII. 2010, 青木陽介採集
 - ・複数固体, 神戸市北区, 18. VII. 2010, 青木陽介目撃
 - ・複数固体, 三木市吉川町, 15. VII. 2010, 三田市有馬富士自然学習センター来館者からの報告
 - ・1♂, 1♀, 三田市南東部, 18. VII. 2010, 三田市有馬富士自然学習センターに連絡, 中峰空採集
 - ・1♂, 三田市南東部, 18. VII. 2010, 中峰空採集
- ※この他, 詳細は不明ながら, 兵庫県北播・東播地域における記録がインターネット上のwebサイトに複数掲載されている。

近年, ヒラズゲンセイ発見に関する新聞報道を目にする機会が増え, 一般的な認知度は高くなってきたと思われる。7月18日に中峰が採集した個体も「新聞で見た赤い変な虫がうちの庭にいる」という連絡によるものだった。赤く奇抜な形態の虫であることから, 印象に残りやすいのだろう。このような社会的な“認識”に関する状況に加え, 本種の分布域が拡大し, 個体数も増加している可能性も考えられる。

兵庫県南東部におけるヒラズゲンセイの成虫発生期間は6月下旬から7月中旬頃と短期間であり, また発生場所の予測も非常に難しいが, 2011年以降も調査を継続したい。

○参考文献

- 山本勝也, 2010. 兵庫県のヒラズゲンセイ雑考. きべりはむし, 32(2): 23-25.
(Hiroshi NAKAMINE 三田市有馬富士自然学習センター)
(Yôsuke AOKI 神戸市北区)

兵庫県三田市でヤノコモンタマムシを採集

中峰 空

筆者は兵庫県で記録が少ないヤノコモンタマムシ *Descarpentriesina chinensis yanoi* (Y.Kurosawa, 1963) を三田市福島有馬富士公園で採集したので報告する。



1ex., 兵庫県三田市福島有馬富士公園, 9. VI. 2010, 筆者採集
1ex. (写真), 同上, 19. VI. 2010, 筆者採集

2個体共に放置されたヤマナラシの伐採木上で採集した。本種の食樹とされるヤマナラシは, 有馬富士公園内のみならず三田・北摂地域において比較的普通に見られる樹種である。以上から, 本種はこの地域に広く分布しているものと考えられる。

○参考文献

- 森 博, 1979. ヤノコモンタマムシ発見の経緯. きべりはむし, 7(2): 31-32.
(Hiroshi NAKAMINE 三田市有馬富士自然学習センター)

クマソオオヨトウの神戸市での採集例

植田 義輔

筆者は兵庫県神戸市でクマソオオヨトウ *Kumasia kumaso* (Sugi, 1963) を採集しているのでここに報告する。



1♀ (写真 1), 兵庫県神戸市北区山田町藍那 (34° 44' N, 135° 07' E, Alt. 230m), 3. VII. 2004, 筆者採集, 兵庫県立人と自然の博物館保管。

本種は国内では本州・四国・九州・伊豆諸島の新島に分布しているが(杉,1982), 採集例はそれほど多くないようである. 寄主はタケ類(イネ科タケ亜科:ハチク・マダケ・ヤダケ・ホテイチク)のタケノコである(吉松ほか,2005). なお, 兵庫県下でのこれまでの採集例は, 「3exs., 佐用郡三日月町下本郷(高蔵寺), 9. VII. 1983, 川副昭人採集」がある(川副,1987).

今回報告した個体は燈火採集で得られた. 採集地点は落葉広葉樹林と常緑広葉樹林の混交林が卓越する丘陵地帯にあり, その斜面にはスギの植林や竹林の小パッチが混在し, 谷筋には水田や畑地がみられた(写真2).



写真2 2011年2月6日撮影.

末筆ながら兵庫県に関する文献についてご教示頂いた高島昭氏および同定を確認し, 標本写真を撮影していただいた八木剛氏に厚く御礼申し上げます.

○参考文献

- 川副昭人,1987. 佐用郡三日月町の蛾覚え書. てんとうむし,10:1-10.
 杉 繁郎,1982. ヤガ科. 井上寛ほか編. 日本産蛾類大図鑑, 講談社, 東京.
 吉松慎一・櫛下町鉦敏・行徳直久・上和田秀美・佐藤嘉一・坂巻祥孝,2005. 日本においてタケ・ササ類タケノコを加害する鱗翅類. Jpn.J.Ent.(N.S.),8(3):91-97.
 (Yoshisuke UEDA 大阪府枚方市)

兵庫県養父市奥米地におけるキマダラルリツバメの記録

阪上 洸多

近藤・広畑(2007)によると, 奥米地では初の記録になるので, 報告する.

4exs., 兵庫県養父市奥米地 花と緑の希望王国, 27. VI. 2010, 午前10時~12時頃, 阪上洸多確認

道沿いに花が咲いているクリの木が何本かあったので, ゼフィルスかなにかいるかと思って, クリの木をつついてみると, ゼフィルスにはやけに小さな姿が見えたのだが, 飛び去ってしまった. しばらくしてつついてみるとまた飛びだし, 今度はとまってくれたので網に入れることができ, 見てみるとキマダラルリツバメだった. その後その周辺のクリの木で立て続けに3頭飛来してきた. 写真1の個体はその3頭目の個体で, 花にとまって幹のほうへと枝を歩き回り(写真2), 再び飛んでは花にとまるということを繰り返していて, 幹を歩いていたこともあった. とにかくよく歩くチョウだった.



写真1 クリに飛来したキマダラルリツバメ.



写真2 枝の上を歩くキマダラルリツバメ.

○参考文献

- 広畑政巳・近藤伸一, 2007. 兵庫県の蝶. 自費出版, 331pp.

(Kôta SAKAGAMI テネラル)